

地域支部の強化推進へ



発行所 四日市工業高等学校
鶴ノ森同窓会
編集責任者 富山 実
印刷所 東海出版

新任ご挨拶



会長 富山 実

小生は昭和四四年電子工学科卒で出身母体は昭和四日市石油支部です。

会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また母校並びに鶴ノ森同窓会に対し深いご理解とご支援を頂き感謝申し上げます。

過日五月十三日に開催された通常総会において会長職を仰せつかりました。富山 実と申します。

今一度、現状を見据えて



校長 竹内 均

鶴ノ森同窓会の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より本校教育へのご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。

さて、本校は「技術と精神(こころ)」を総ての教育活動の基盤として、同窓会の皆様が築いてきた伝統を継承し、ま

た、新たな社会の変化に柔軟に対応した教育を展開するため、現在、「キャリア教育」「ものづくり」「スポーツ」の充実・推進に取り組んでいます。今一度、現状を踏まえ、そして、近い将来、或いはまた、遠い将来を想定した取組を展開することが重要だと考えています。

「キャリア教育」では、本校の就職希望生徒が、近年、約八五%である状況の中、勤労観・職

原稿募集

写真・絵画・文芸作品・随筆・手紙等
何でも歓迎！
どしどし本部までお送り下さい。

生がなければ大きなイベントは計画されていません。しかし四年後には母校創設百周年、同窓会設立九五年を迎え、大イベントも予定されており、長期的展望に立ち計画を押し進めなければなりません。

大先輩の方が次の様に言っていた事を紹介いたします。「母校の過去、現在、未来を語り繋ぐと歴史が生まれ、卒業生が集まり、会話する事で互いの親睦が深くなる。従って同窓会の存在は極めて大切。」私自身この言葉を聞き、伝統が長く継続されることが、当に鶴ノ森同窓会の歴史そのものだと思っております。

近年、同窓会行事等に参加して頂く人達の顔ぶれを見てみますと、企業支部および部会以外の方の参加が特定の人達だけで、他の人の参加が気薄らなってきたように感じます。と言うのも、団塊の世代の方々のご数年にたくさん退職され、連絡調整がうまく行われていない事が起因しているように感じます。そこで二年計画で地域支部強化の推進を推し進めたいと考えております。

いずれにしても、同窓会運営を継続、充実させる為には、会員、各支部および部会の皆様の絶大なご協力とご支援が不可欠です。二方学校側とも融合調和を図り良い関係である事も大事な事です。

何時でも、何でも相談、話合える風通しの良い同窓会運営を目指したいと考えています。

最後になりますが、精一杯頑張りますので、ご指導・鞭撻を宜しくお願いいたします。

業観の育成を基本に、生き方あり方を含めた人間力を培うことを目標として、また、「ものづくり」では、ものづくりコンテストを始め、この数年間、各競技会等において優秀な成績を収めています。工業高校として、今後も技術・技能の習得を欠くことはできません。そして、「スポーツ」においては、本年度、競技における強化指定を受けたクラブが七部あり、春の選抜大会にて三年ぶり二度目の優勝を果たしたテニス部を始め、三重県を始めとする東海地域で七月末から八月に開催される全国高校総合体育大会での活躍が期待されます。

これら「心・技・体」を養うことが、将来を担う人間となる基盤と捉えています。生徒一人ひとりがそれぞれの自己実現を図り、社会に貢献できる人間に成長できるように学校として、今、何が出来るのかをしっかりと把握し、教職員が一体となつて教育に従事していきたいと考えています。

鶴ノ森同窓会の皆様方におかれましては引き続き、変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。最後にになりましたが、会員の皆様方のご健康とご活躍を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

退任のご挨拶



前会長 西村 充宏

会員の皆様方におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。私は先般の総会において会長職を退かせて頂くことになりました。長きに亘り、会員諸氏並びに本部役員の方々の温かいご理解と適切な支援を頂戴し、心より御礼申し上げます。

振り返れば、平成二九年の設立九十周年記念総会の開催、同窓会名簿の発行、記念DVDの発行等の事業を

行いました。これら諸事業も、会員皆様方の御協力の賜物と感謝いたしております。

本年度の新役員の皆様方は熱意と気迫に富んだメンバーと確信いたしております。

会員の皆さまに置かれましては、新役員が展開する諸事業に対して今までの以上のご支援をお願い申し上げます。私も監査役として支援してまいります。

最後に皆様方から賜りました多くのご指導に心より厚く御礼申し上げます。退任のご挨拶とさせていただきます。

第92回 定期総会



平成三十年度本部役員

名誉会長	川崎 國男	事務局	日比 正徳
会長	富山 実	〃	千種 雄介
副会長	田中 正美	〃	藤吉 昌光
〃	市川 信二	常任理事	水谷 昌史
〃	中村 正幸	〃	渡辺 克也
監査	西村 充宏	〃	久保 克也
〃	稲葉 康弘	〃	辻 浩英
〃		〃	森 茂樹
〃		〃	森 茂樹

平成三十年度事業計画

- 一、定期総会 五月十三日
- 二、奨学生の選出と助成(全定 若干名) 五月下旬
- 三、工業技術ものづくり支援制度作品選出 七月上旬
- 四、機関新聞「鶴ノ森」の発行(七、〇〇部) 七月中旬
- 五、四工祭(文化祭協賛(OB作品出展)) 十一月二日
- 六、新会員の入会式 九月・二月下旬
- 七、優良卒業生の表彰 二月下旬
- 八、矢野奨励賞の表彰 二月下旬
- 九、クラス会支援制度展開 通年
- 十、記念館の整備・充実 随時
- 十一、支部結成の促進 随時
- 十二、会議(常任理事会・理事会・事業推進等)年間約二十回

◆第九三回定期総会のご案内◆

日時 二〇一九年五月十二日(第二日曜日)
受付 午前九時三十分
開会 午前十時
場所 プラトンホテル四日市
会費 四千元

鶴ノ森同窓会のホームページ

<http://www.yokkaichi-th.ed.jp/unomori/>
「鶴ノ森同窓会」で検索して頂ければ結構です！是非一度閲覧ください。

鶴ノ森同窓会

鶴ノ森同窓会 協賛 文化祭展示室



昨年度も生徒会主催の四工祭に協賛事業として文化祭展示を平成二九年十一月二日に行いました。

当日は同窓生十七名(四五作品)、企業支部十一社より出展して頂き盛大に開催することが出来ました。

展示品は同窓会員が趣味で作られた作品で芸術性に溢れた力作ばかりでした。

作品のジャンルとしては、「書」「水彩画」「油絵」「水墨画」「写真」「陶芸」「伊勢型紙」「掛軸」等で、展示会場に訪れた母校生徒や保護者、教職員からは称賛の声を頂いております。

又、企業支部からは会社案内パンフレット等を提供して頂き保護者や生徒の関心を集めておりました。



社案内パンフレット等を提供して頂き保護者や生徒の関心を集めておりました。しかしながら近年は出展者の高齢化に直面しているのが現状です。現役の方、定年後の趣味として作品作りに励まれている方、また友人で出展して頂ける方のご紹介をして頂き、一度出展してみても如何でしょうか。興味のある方は、同窓会HPにてご確認ください。

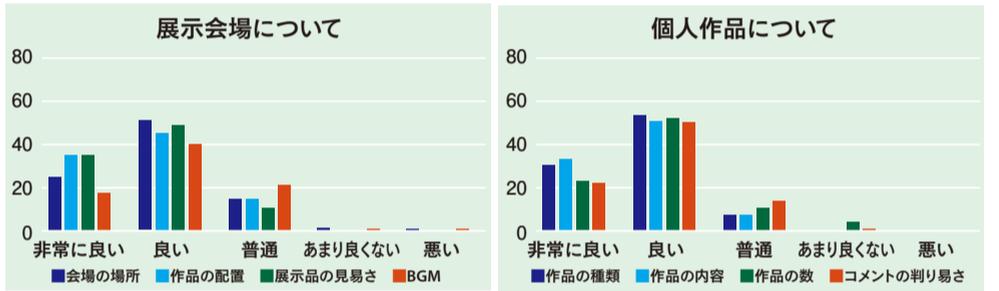
企業支部に置かれましても会社案内と合わせて職場の風景写真等も展示して頂き会社の魅力を紹介して頂いては如何でしょうか。最後にになりましたが、

出展頂きました会員の皆様をはじめカタログ等を提供して頂いた各支部のご厚志にお礼申し上げます。また、会場設営にご尽力頂きました本支部役員、支部役員、事務局、事務局長の先生方に厚く御礼申し上げます。

本年度も昨年同様に四工祭に協賛し文化祭を開催してまいりますので、皆様のご出展をお待ちしておりますので宜しくお願い申し上げます。

日時	平成29年11月2日(木曜日)
会場	母校教室(2F)
出展者	個人 17名 45作品 (写真、絵画、掛け軸、伊勢型紙、モデル等)
入場者	企業 11社 (カタログ) 前年参考 13社 (カタログ) 全 127名 (生徒36名、職員・保護者71名、同窓生20名) 前年参考 140名 (生徒46名、職員・保護者79名、同窓生15名)

アンケート集計結果



ものづくり 支援制度

高校生ものづくりコンテスト 三重県大会 (化学分析部門) 物質工学科

今回、鶴ノ森同窓会のものづくり支援制度に採択していただき、ありがとうございます。



個人の部 3位 服部航大



団体の部 2位

中濱校、稲富杏香、永島優)が出場し、Aチームが団体二位となりました。個人の部では、三年服部航大が三位入賞することができました。本年度は東海大会出場を目標に、お互いに励ましあい、技術を高めあう



第16回高校生ものづくりコンテスト 三重県大会 東海大会

最後に、鶴ノ森同窓会のご発展を祈念し、ものづくり支援のお礼とさせていただきます。



全国選抜高校生溶接技術競技会 in 新居浜

大会は三年生の山本汐夏が優勝、伊達智哉が三位入賞



ものづくり支援制度

ものづくり支援制度のおかげで十分な木材といふ環境の中やれるだけのこと、を精一杯やりま



東海大会では点差はほとんどなく第五位と健闘しました。

今年も全国大会が四日市で開催されます。昨年度は三位の生徒が残っているため、しっかりと練習して全国大会出場を目指したい。県内各校も力を入れている

今後のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

ものづくり 競技大会に 参加して 機械科

高校生ものづくり コンテスト (木材加工部門) 建築科

ので例年にもまして張りたいと思います。まずは、県大会優勝をし、東海大会においても上位で全国大会に臨めるようにしたい。



藤井紗希 (平成29年度全日制建築科卒業) 進路先 佐藤工業株式会社

社会人となり一ヶ月が経ちました。名古屋のゼネコンに就職し、建築現場で施工管理の仕事を通じて、社会人になった事を実感しています。墨出しと言われる仕事を初めてした時に、建物に携わっている嬉しさもありましたが、これで建物が建っていく事を考えるとミスは許されないのだと感じました。私のミスで工期が遅れたり、お施主様からの信頼を失い、更には社会からの信頼を失うと考えると二つ三つの言動に重みを感じました。会社では期限の大切さを上司から教えていただいています。学生の時のように待つてはもたないで、引き渡し期日を約束したら、必ず仕上げなければなりません。その日に合わせ毎日のノルマを進める。二日目の私にできる最大の課題であり、社会への貢献につながっていると思います。生活では一人暮らしが始まり、母の偉大さや家族の温かさ、友人の大切さを日々感じています。これから多くの壁に直面する事だとは思いますが、私らしさを大切にする事だと思いつつ、日々精進していきたいです。

会員だより

社会人になって



伊藤大瑠 (平成29年度全日制機械科卒業) 進路先 KHネオケム株式会社

私は機械科を卒業してKHネオケム株式会社に入社しました。会社は学校とは違い厳しい所で、新入社員でも自分の行動が会社の業績に影響してくるので自分の行動に責任を持ち、また早く一人前になれるよう努力しなければいけません。私が社会人になってからもらったアドバイスで印象に残っていることが二つあります。一つは「自分で考える」ということです。仕事では予測、判断が重要でそのための考える力がとても大切です。二つ目は「仕事に興味を持つ」ということです。自分の長所は飲み込みが早く、また新しい事に興味を持つことです。これらを活かして、仕事への興味を仕事を早く覚えて会社



昭和40年卒 機械科

平成30年5月26日
日本海 庄や

昭和36年卒 機械科

平成30年3月30日
プラトンホテル

クラス会報告

①対象 クラス会学年同窓会
②内容 申請書に会員名簿と集合写真を添えて同窓会事務局まで郵送する。
③支援金 出席人数×二百円
但し千円未満は四捨五入して支給。
※集合写真を次回の機関誌に掲載予定。(抜粋)

関東地区 発足!

鶴ノ森同窓会

2018年3月17日発足
会員数 56名

懇親会

昨年、鶴ノ森同窓会設立九十周年の記念事業として関西支部に並ぶ関東支部を設立しようと、関東地区二都六県に在住の同窓生を対象に、本部の日比監査役及び関西支部の伊藤支部長の指導のもと有志による準備委員会で検討を進め、本年三月十七日に関東地区で新たな一歩を踏み出す「同窓生の集い」を東京駅八重洲通りにある会場で開催しました。

当日の参加者は二六名。日比監査役と伊藤支部長お二人にも参加いただき、集会和懇親会の二部制で開催しました。

集会では、始めに改めて背景と趣旨の説明に始まり、日比監査役の挨拶を賜り、続いて、今後二年間の幹事八名及び顧問として日比監査役と伊藤支部長の紹介を行いました。その後、向こう二年間の行事予定を連絡し、各行事への参加と協力要請を行いました。二部の懇親会では、初の

懇親会

宴会でしたが、同窓会設立九十周年記念DVDの放映を行ったこともあり、大半が初対面の同窓生同士でしたが、テーブルを囲む笑顔やそれぞれに充実した日々を送っておられる様子の近況報告など、皆さん和気藹々のムードの中で大いに盛り上がり、楽しい時を共有しました。

六月二日には、第一回目の行事を開催しました。今回はものづくりの現場見学として、東京府中にあるビール工場の工場見学を催しました。参加者は十三名でした。先ず、こだわりの素材や製造を映像で紹介された後、仕込み設備や貯蔵行程の見学を経て、お楽しみ試飲タイム。出来たての三種類の美味さを再確認しました。ビール工場見学の後は、有志にて東京競馬場見学と大國魂神社を参拝し帰路につきました。

今後の行事は次の通りです。関東地区の皆さん。ふるって参加願います。

十月 ウォーキング
十一月 忘年懇親会
三月 集会

ビール工場見学

支部だより

JSR

昭和52年4月発足
会員数 425名

JSR支部の近況を報告させていただきます。

今年度は、母校より十四名の新入社員を迎える事が出来ました。会員の数も増え活気あふれる状況が続いております。



JSR四日市工場では、新研究棟を建設し、二〇二八年二月二十日に竣工式を行いました。この新研究棟ではこれまでの研究所にはなかったフリーアドレスオフィス・交流スペース・実験室を設置し、「分野を超えた研究所間の交流」、「組織を超えたチーム作り」を推進していきます。

KHネオケム

昭和60年4月発足
会員数 136名

当社は協和発酵キリンググループから独立後、東証一部に上場し約一年半が経過しました。昨年度の営業利益は、冷凍機油原料や化

粧品原料の販売が好調で、三期連続で過去最高益を更新しました。本年度は午起製造所内に冷凍機油原料の生産能力を増強するための新規製造施設の建設がスタートします。今年も四名の新しい仲間を迎えることができました。例年、新入社員研修終了後に、支部役員と運動部の先輩にて歓迎会を開催しています。

NTN

昭和26年6月発足
会員数 50名

NTN支部の蛍雪会は昭和二六年に発足されて以来六七年間毎年新入社員を迎え入れ歓迎会や定期総会等の支部活動を行っています。本年も母校から二名の同窓生を迎え会員数は五十名を数えます。NTNは、今年三月に百周年を迎えました。これを機にNTNは「世界をなめらかにする仕事。」というコミュニケーションワードを提唱。これからはベアリングをはじめ、機械をなめらかに動かす商品を世に送り出す事で、周りの生活や社会をもつとなめらかにして参ります。



二月に支部総会を開催しました。毎年の恒例行事として各職場の会員が顔を合わせ親睦を深めました。四月には五名の新しい仲間を迎えられる事が出来ました。彼らは五月に各職場へ配属さ

コスモ石油

昭和36年1月1日発足
会員数 125名

れ先輩方の指導の下、頑張っております。私達は「ココロも満タンに」「ずっと地球で暮らす」をスローガンに一丸とって活動してまいります。



本年度は母校からの新入社員を一名迎える事が出来ました。現在埼玉地区で二年間の研修課程に取り組みしており来年四月には富士電機マンとして、たくましい姿で三重に帰ってくるものと楽しみにしています。

富士電機

昭和45年4月1日発足
会員数 116名

鶴ノ森会活動につきましては、会社組織の変革にもともなう移動・転籍などが忙れそれが忙しい日々を過ごすなかすが、活気あふれる支部にしていきたく思います。



パナソニック

平成25年5月発足
会員数 157名

パナソニック四日市支部では、今年度も母校より電気科物質工学

科より各一名、機械科より二名を迎えることができました。約一ヶ月間の研修を経て、五月初旬に各職場へ配属されました。パナソニックは、今年創業百周年、新たな仲間、次の百周年を築くべく積極果敢な人材となるよう支部会員で指導していきます。



東ソー

平成4年4月発足
会員数 208名

私ども東ソー支部に今年も元氣な新人十二名が加わり、現在配属先で将来当社を支える人材へと成長を続けています。

大量定年退職により、ベテラン会員が急激に減少していますが、新人採用に加え、昨年度にはグループ会社の卒業生も会員となるよう会則変更を行いました。「働き方改革」が叫ばれる中で世代交代を進めることは容易ではありませんが、本部同窓会や当支部OBのお力添えを頂きながら今年度の支部活動を進めてまいります。



太陽化学

昭和48年4月28日発足
会員数 42名

当支部は、結成以来本年で四十六年目となり、母校からの新入社員を一名迎える事が出来ました。当社の事業内容は、食品用の乳化剤や安定剤、鶏卵加工品等の食品素材を製造販売し、業績の方は、強い節約志向の継続により厳しい状況ではありますが、業務改善や

不採算製品の見直し等を進め、原材料の格低減の追い風もあり前年よりも好調な業績となりました。支部活動の方は、歓迎会等を行って親睦を深めています。



東芝メモリ

平成24年10月発足
会員数 201名

東芝四日市工場は社名を東芝メモリ株式会社に変更し早一年が経過しました。東芝四日市支部は六年前の二〇一二年に発足した新しい支部で会員は新入社員十三名を含め二〇一名となりました。当工場は半導体製造の最先端工場としてフル稼働し今もなお増産しながら躍進し続けています。昨年の十月二十七日には定期総会を開催しました。鶴ノ森同窓会本部より会長の西村様をお招き、総勢四二名が出席し懇親を深めました。



た。最後に母校と支部一念し、記念撮影を行って並びに工場の発展を祈り終了しました。

機械部会

平成13年3月20日発足
会員数 47名

昭和十八年卒から五十七年卒までの幅広い年代の会員で構成され、定年退職後を有意義に過ごすために、各種行事を通じて研鑽を深めています。

- ① 定期総会 椿神社 拝後、椿会館にて総会、懇談
- ② 工場見学、社会見学会(最新の製造現場見学、歴史資料館見学)
- ③ パークゴルフ大会
- ④ 新年懇親会(鶴ノ森 社参拝後、会食)
- ⑤ 機械部会支部会報の発行(四百部)



三菱ケミカル

平成29年4月発足
会員数 260名

当社は二〇一七年四月に旧三菱化学・三菱レイヨン・三菱樹脂の三社が統合し、三菱ケミカルとなり、二年目を迎えました。

当社は「社会から信頼され、競争力を有する、やりがい、働きがいのある(KAITEKI事業所)の実現」に向

けて全員参加で活動中です。この二年間は安全・安定操業の確保を最優先事項として取り組み、設備・運転トラブルも減少傾向にあります。今後も「一人ひとりカケガエナイひと」の基本理念のもと、ものづくり競争力の強化や、働き方改革による生産性向上にも全員が情熱をもつて取り組んでいきたいと考えています。最後にになりましたが、母校と鶴ノ森同窓会並びに各支部様のご発展とご健勝を祈念し支部報告とさせていただきます。



関西支部

平成8年4月発足
会員数 151名

四月二日に開催された第二三回総会懇親会へは、西村会長・富山副会長及び三重県関西事務所より辻所長川波様、松阪高校の相手関西同窓会会長にもお越し頂きました。二八名の参加の方々と有意義に親睦を深める事が出来ました。数年前より、卒業名簿記載の関西在住者にご案内を続けております。逝去・転居・退会希望等があり現在百五二名に減少しております。本部の新聞を同封し根気よく情報の発

信を続けております。不参加の五十名の方からも近況報告を頂き一体感を保っております。関西圏の広域ですが、大阪三重県人会様及び関西三重県高校同窓会連絡協議会(十二校)様と連携し活動の輪を広げて行きます。新しく発足した関西支部とも情報を共有し活性化を目指します。



昭和四日市石油

昭和61年12月発足
会員数 182名

昭和四日市石油支部の近況を報告させていただきます。

当支部は結成依頼本年で三十一年度で会員数は百八十二名です。本年の四日生新卒採用者は十名でした。四日市製油所の稼働状況はまずまずの成果を上げております。皆さんご承知のこととは思いますが、出光興産



との合併問題が出てから二年が経過しますが、未だ不透明部分があり決定には至っておりません。そんな中、卒業生が危機感をもつて各職場にて頑張つて勤務しております。



着任の御挨拶と近況報告

定時制 教頭 小林 正典



全日制近況報告とご挨拶

全日制 教頭 伊藤 光司

母

校

だ

よ

り

この四月に御縁あつて着任させていただきました。よろしくお願いたします。

勤労学生の勉学の場として発足した本校定時制は、校訓「技術と精神(こころ)」のもと、今春三十人の新入生を迎え、全生徒約二百人が「働きながら学ぶ」とい

う開学以来の精神を受け継ぎ、仕事と勉学に取り組んでいます。単位制を導入しているため、教務部と担任が連携し生徒一人ひとりに対して最適な履修登録を指導するとともに、生徒指導・健康安全部が中心となって健康かつ安全として規律ある学校生活を指導しています。

そして、進路指導部と工業各科が中心となつて、基礎学力補習及び資格取得補習を行うことにより、正社員としての就職実現を目指しております。さらには、半数近くの生徒がクラブに所属し、全国大会出場目指して取り組んでいるところとす。

今後、さらなる伝統を築くべく、教職員が一丸となつて次世代を担う社会人を輩出し続けるよう邁進する所存です。

鶴ノ森同窓会の皆様方におかれましては、引き続き変わらぬ御支援御協力を賜りますようお願いいたします。

鶴ノ森同窓会会員の皆様には、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は本校の教育活動にご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

この四月には、ものづくり創造専攻科を開設し、十名の生徒が専攻科生として入学をいたしました。専攻科棟は建設工事中のため、仮教室でのスタートとなりましたが、企業の中核を担い、地域で活躍できる技術者の育成に取り組んでまいります。

さて、昨年度の進路状況ですが、求人数が六二二人と七年連続で増し、就職希望者の全員が内定をいただきました。進学についても、多くの推薦枠をいただく状況であり、多くの生徒が希望の進路を実現できたものと考えております。これも同窓会の皆様が多方面において活躍されているおかげであり、地域社会から厚い信頼が寄せられているものと心から感謝申し上げます。

部活動におきましては、平成二九年度も、県総合体育大会で総合二位(二年連続)となり、多くのクラブが全国総体に出場するなど輝かしい成績を収めました。

さらにテニス部は、この春の全国選抜大会において団体戦優勝を果たしました。本年度は、地元東海地域の全国総体の開催であり、さらなる活躍を期待しています。また、ものづくりコンテストやロボット競技、各コンテスト等においても優秀な成績を収めています。

今後、校訓「技術と精神(こころ)」を教育活動の基本に据え、社会に貢献できるグローバルな職業人の育成を目指して取り組みますので、温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

進路指導部 平成29年度卒業生の進路状況

求人状況		平成28年度
求人会社数	内	403
	外	600
	合計	1003
求人数	内	684
	外	937
	合計	1621

進路状況

分類	数	合計
生徒	316 (18)	
就職	277 (11)	
進学	37 (7)	
その他	2	
進学		
四年制大学	26 (3)	
短大・高専	1 (1)	
専門・各種学校	10 (1)	
その他		
地域		
県内	197 (8)	
中部	70 (2)	
関西	6	
関東	4	
建設	19 (6)	
産業		
食品	12	
繊維・木製品・紙	2	
印刷・同関連	1	
化学	50	
石油	17 (1)	
プラスチック	5	
ゴム	5	
窯業	6	
鉄鋼・金属	11	
機械	11	
電気	12	
情報通信		
電子機械	5	
輸送	1	
その他	101	
職別		
電気・ガス・熱供給	11 (1)	
通信・運輸	2	
卸売・小売・金融	5	
サービス・不動産・医療福祉	3	
公務員	2	
その他		
自営・縁故等	1	

(注) ()は女子の内数

就職はもちろん進学におきましても、四日市工業高校ご出身の先輩の方々のご活躍、実績が大きく影響していると感じています。最後になりましたが、皆様の益々のご活躍をお祈り申し上げます。また、四日市工業高校への一層のお力添えとご支援を賜りたくお願い申し上げます。



専攻科は高等学校卒業生を対象とした二年制の教育課程です。



本校はこれまで時代の変化に伴う産業界のニーズや、工業都市四日市を中心とした地域からの要望を踏まえ、学科改編や学習環境の整備を行ってきました。

また、ものづくり現場での実習や、ものづくり現場で活躍されている方による講話や現場での実習を通して実践的な知識や技術・技能を身に付けます。また、危

近々では、県内人口が減少局面に入ったことや、製造業のグローバル化が進展したことなどに対応するために、産業界からはさらなる高度な技術者の育成を求め声がありました。

そこでこのような社会の要請に応え、本校に新たな学びの場として「ものづくり創造専攻科」を開設することとなりました。

また、ものづくり現場での実習や、ものづくり現場で活躍されている方による講話や現場での実習を通して実践的な知識や技術・技能を身に付けます。また、危

この教育活動をより広いものとするために、専攻科の教育活動を支援していただく「協働パートナーズ」を募集しています。

「ものづくり創造専攻科」について

本校はこれまで時代の変化に伴う産業界のニーズや、工業都市四日市を中心とした地域からの要望を踏まえ、学科改編や学習環境の整備を行ってきました。

また、ものづくり現場での実習や、ものづくり現場で活躍されている方による講話や現場での実習を通して実践的な知識や技術・技能を身に付けます。また、危

この教育活動をより広いものとするために、専攻科の教育活動を支援していただく「協働パートナーズ」を募集しています。

職員の異動

(平成二九年度教職員の異動は次の通りでした)

職名	氏名	所属	異動先	
【退職】(全日)	上野久美雄	機械	退職	
	鈴木秀幸	機械	退職	
	服部和明	電子工学	退職	
	坂倉明	電子工学	退職	
	藤田和彦	機械交通工学	四日市工業(再任用)	
	平賀隆	機械交通工学	退職	
	【転出】(全日)	西尾比呂也	社会	津工業高校
		三浦早矢加	数学	(内地留学)三重大学
		中西博亮	理科	みえ夢学園高校
		土井健	機械	四日市中央工業高校
砂川匠		機械	桑名工業高校	
森保行		機械	尾鷲高校	
笠井洋司		電子機械	四日市中央工業高校	
山口敏幸		建築	津工業高校	
細木健樹		機械交通工学	北星高校定時制	
小玉雄基		機械交通工学	伊勢工業高校	
【転入】(全日)	上野正典	機械	上野高校(全日)	
	山田洋明	機械	四日市中央工業高校	
	青山知司	機械	尾鷲高校	
	岡野琢也	住メテ工学	伊勢工業高校	
	田中英充	事務	津建設事務所	
	大井陽子	事務	総務部税収確保課	
	市川真也	事務	新規	
	宇根美樹子	事務	新規	
	飯田真規	機械	四日市中央工業高校	
	阪智彦	電子工学	桑名工業高校	
市川有紀	建築	県教育委員会		
杉田一也	機械専攻科	桑名工業高校		
寒作充伸	機械専攻科	桑名工業高校		
稲田清人	電気専攻科	(内地留学)三重大学		
伊藤清人	電気専攻科	(内地留学)三重大学		
飯田真規	機械	四日市中央工業高校		
山田貴太	機械	伊賀白鳳高校		
高光晃大	機械	伊賀白鳳高校		
岡本圭佑	機械	伊賀白鳳高校		
秋田真和	機械	松阪工業高校		
北村光子	英語	四日市南高校		
倉田泰之	理科	四日市南高校		
川原竜太	数学	四日市南高校		
上野俊郎	地歴	いん総合学園高校		

